

中村

発行 中村会（愛知県立中村高等学校同窓会）



英気の泉 心のふるさと

中村会の喫緊の課題について

会長 伊藤 義人



会長に就任して2年目になりました。愛知県立中村高等学校同窓会（中村会）の新執行部ができてすぐに、校長先生とお話して、学校側の要望が大きかった、中庭の部室改築（改修）プロジェクトを立ちあげました。予定よりかなり遅れましたが、やっと平成30年3月に募金活動が開始できることとなりました。「ふるさと納税」制度の活用や建築確認の必要性などの問題が発生しましたが、多くの方のご協力によって何とか解決しそうです。今後は、卒業生やPTAなどのご協力を得て募金活動が成功し、このプロジェクトが成功することを強く願っています。

通常の寄付控除ではなく、「ふるさと納税」制度の活用が税務署に認められる目処がたちましたので、簡単な確定申告で、所得税と住民税の控除により、上限はありますが寄付額から2000円を除いて、全額が戻ることになります。総務省のホームページで、給与年収と家族構成を入れると上限額の概算が出てきます。私の場合で、約10万円でした。ご希望の方には、改築（改修）した部室に設置する銘板に寄付者名を入れる企画もしております。今後、中村高校の生徒が長く使えるものを造りたいと思っております。

愛知県立中村高等学校同窓会（中村会）は、今後、皆さんとともに母校発展と社会貢献のためにがんばっていききたいと思います。卒業生のネットワークをうまく生かしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

在校生の活躍を「英気の泉」に

校長 小菅 順一



同窓会の皆様には、日頃より母校の教育活動にご支援をいただきありがとうございます。同窓会のご支援で、在校生は、部活動、国際交流事業などさまざまな教育活動に意欲的に取り組んでいます。活力溢れる在校生が、明日の同窓生になり、同窓会活動の一層の発展に力を発揮することをご期待ください。

部活動では、高校総体県大会に陸上3種目、体操男子団体・女子個人、水泳4種目で出場しました。演劇部は2年連続で県大会に出場しています。

国際交流事業は、今年度メントン・ガールズ・セカンダリー・カレッジから20名の生徒が本校を訪問しました。イングリッシュサマーキャンプは美浜少年自然の家を会場に73名の生徒が参加。中村地球市民教室では、各クラステーマを設定し、講師とディスカッションする取組が始まっています。

同窓生の方から、「校長室だより」など学校のホームページをよく見ているというお話を伺いました。在校生には、明日の君たちへのメッセージだと伝えていますが、後輩の活躍が同窓生の方にとっては「英気の泉」かもしれません。真剣に学習、部活動、学校行事、国際交流事業に取り組む在校生を見て、「英気」を感じ取っていただければ幸いです。また、同窓生の応援は在校生にとっても励みになっています。今後も母校の発展を力強く応援してください。

中村区制80周年を記念して開催された「学校・官公署に遺された名品展」に、本校から浅田蘇泉「坂のある風景」、勝承夫「校歌」を出品しました。「坂のある風景」は笹島駅周辺の懐かしい風景を描いており、同窓生の方にも喜ばれたそうです。「坂のある風景」は会議室にあります。機会があれば、来校してご覧ください。

第62回 中村会 総会・講演会・懇親会

平成29年5月14日（日）、ルブラ王山（名古屋市千種区）にて、95名の参加を得て、第62回中村会総会・講演会・懇親会を開催しました。

【総会】

総会では伊藤義人会長（16回生）を議長に指名し、平成28年度の事業報告、決算報告の後、平成29年度の事業計画・予算説明などが議題として提案され、承認されました。

報告・計画内容の詳細は、次ページをご覧ください。



【講演会】

テーマ「グローバリゼーションとの付き合い方

－国際機関の視点から－

講師 山田 高敬さん（22回生）
名古屋大学大学院環境学研究科 教授

国際政治学が専門の山田さん。グローバリゼーションはアメリカ主導のGATT（関税及び貿易に関する一般協定）やWTO（世界貿易機関）により貿易の自由化は進展し、世界経済の進展を後押ししてきました。しかし、無節操なグローバリゼーションの進展の結果、低賃金労働や国境を越える公害など、マイナスの影響も現れ、底辺を支える国・人・モノなどに競争を強いることにもなっている現実があります。例えば低賃金のために安全な水さえも得られない人々がいることはその1つです。それらの現実に対して国際機関がどういう役割を果たすことができるのか。国連などの国際機関はその課題の解決を求められがちですが、実際には人的・知的・財源的に必ずしも強力ではなく、国際機関は、様々な国の政府や企業などの各パートをとりまとめるオーケストラの指揮者のように、仲介者として目的達成のために主体的に行動していくべき立場であること、大切なことは節度あるグローバリゼーションを各国が意識し、「指揮者」である国際機関に協力し、国際機関に加盟していない国々への責任を重視した活動が、持続発展の可能な世界を作っていくのだ、とグローバリゼーションと国際機関の役割・立場について分かりやすくお話をいただきました。



【懇親会】

総会・講演会に引き続き、懇親会を行いました。今回は新会員となった62回生の参加が40名もあり、若々しくそして賑やかな懇親会となりました。恒例イベントとなった高木靖之さん（26回生）によるオークションにも62回生が積極的に手を挙げ、先輩、大先輩方との交歓も和やかにすすみました。



28年度事業報告

◆平成28年度 中村会 事業報告

- 1 総会及び講演会の開催
- 2 会報の発行（第14号）
- 3 HPの運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTAとの連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 関東支部の支部総会の実施
- 11 部室の改築に向けての検討

平成28年度 中村会 決算報告

収入の部 (単位：円)

科目	予算額①	執行額②	差額②-①	備考
前年度繰越金	2,417,585	2,417,585	0	
入会金	1,800,000	1,790,000	-10,000	卒業生358名
雑収入	415	10,642	10,227	総会懇親会残金9,642 校歌CD+60周年CD1,000
計	4,218,000	4,218,227	227	

支出の部 (単位：円)

科目	予算額④	執行額⑤	差額④-⑤	備考
事業費	100,000	56,000	44,000	総会講演会謝礼 奨学金(1名)
HP運営費	330,000	305,856	24,144	プロバイダー毎月3,888 管理改修費毎月21,600
通信費	450,000	392,175	57,825	料金後納・総会案内発送
会報費	300,000	263,466	36,534	会報・封筒作成 返信用ハガキ作成
総会施設費	70,000	45,140	24,860	
名簿管理費	180,000	140,297	39,703	
諸雑費	10,000	2,808	7,192	振込手数料
慶弔費	40,000	0	40,000	
会議費	5,000	0	5,000	
予備費	50,000	0	50,000	
繰越金	2,683,000	0	2,683,000	
計	4,218,000	1,205,742	3,012,258	

残高の部 (単位：円)

収入額計	支出額計	次年度繰越金
4,218,227	1,205,742	3,012,485

上記に相違ありません

平成29年5月7日 監査 太田 守彦 ㊞
監査 祖父江 隆 ㊞

29年度事業計画

◆平成29年度 中村会 役員

- 会長 伊藤 義人 (16回生)
副会長 川合 富雄 (17回生・総務担当)
水野 圭爾 (26回生・財務担当)
古木 啓介 (47回生・広報担当)
事務局長 川口 恭子 (34回生)
書記 川口 恭子 (34回生)
会計 山口有里子 (36回生) 江口 基 (42回生)
監査 太田 守彦 (22回生) 祖父江 隆 (45回生)

◆平成29年度 中村会 事業計画

- 1 総会及び講演会の開催
- 2 会報の発行（第15号）
- 3 HPの運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTAとの連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 関東支部の支部総会の実施
- 11 部室の改築に向けての募金活動（6ページ参照）

平成29年度 中村会 予算

収入の部 (単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越金	3,012,485	
入会金	1,775,000	5,000円×355名
雑収入	515	
計	4,788,000	

支出の部 (単位：円)

科目	予算額	備考
事業費	100,000	総会経費、奨学金
HP運営費	310,000	HPメンテナンス料金等
通信費	450,000	会報発送等
会報費	300,000	会報・封筒・ハガキ作成
総会施設費	70,000	総会会場使用料
名簿管理費	180,000	新規入力、変更、削除
諸雑費	10,000	振込手数料
慶弔費	40,000	上級大会出場祝金
会議費	5,000	役員会
予備費	50,000	
繰越金	3,273,000	
計	4,788,000	

総会・講演会・懇親会の御案内

日時 平成30年5月20日(日) 11:00~14:30
会場 ルプラ王山
地下鉄東山線池下駅から東へ徒歩3分
電話 052-762-3151

次第 受付 10:30~11:00
総会 11:00~11:30
講演会 11:30~12:30
懇親会 12:40~14:30

会費 懇親会のみ有料(当日お支払いください)
一般会員 5,000円
学生会員 1,000円
今年の卒業生(63回生)は無料

申込 出席の場合は、同封のはがきにより、4月20日(金)までに投函してください。
欠席の場合は連絡の必要はありません。

同期会・同窓会報告

■16回生同期会

平成29年11月23日(祝)、覚王山のルブラ王山にて4回目の学年同窓会を5年ぶりに行いました。恩師の多湖先生を含めて、63名が参加。最初に学年幹事からこれまでの経緯と、中村会が企画している部室改築への協力をお願いしました。その後、多湖先生にお話と乾杯の音頭をとっていただきました。「立食は疲れる」という同窓生の声を受け、着席バイキング形式で、椅子を余分に用意してテーブルを回ってじっくりと話ができるようにしました。

懇談の間、卒業時のアルバムと3回目の同窓会のときの写真が前面のスクリーンに映し出され、好評でした。一番盛り上がったのは、高校時代に歌った1980年代の歌(「学生時代」など)を全員で合唱したことでした。会の最後に校歌を合唱し、全員の記念撮影。次回は、5年後ではなく、3年後にしようと約束しました。

(16回生 伊藤 義人)



■22回生同期会

平成29年5月14日(日)に開催された、第62回中村会総会で行う講演会講師を、我が22回生の山田君が務める事になったため、同期生に連絡を取ったところ、多くの同期生から「出席」の通知が返ってきました。「これは総会の懇親会だけでなく、終了後にも山田君の慰労を兼ねプチ同期会を開かねば」と思い、急いでJRセントラルタワーズ「えん」に予約を入れ祝杯を挙げることにしました。

当日は総会にしか参加できない人、(不埒にも)慰労会にしか参加できない人など出席者の調整に苦慮しましたが、総会は20名程、慰労会には15名程が参加し旧交を温める事が出来ました。

我々22回生もいよいよ平成30、31年と還暦を迎えます。次回は平成31年(ちょっと待て、平成は4月までだ!)〇〇元年に22回生の還暦同期会を開催するように準備を進めることとなりました。今回山田君の講演、および慰労会に参加できなかった、22回生の方も還暦同期会にはぜひ参加くださるようお願いいたします。日程などをお知らせできるよう、連絡先を同窓会事務局まで連絡いただけると幸いです。

(22回生 太田 守彦)



■61回生同期会・成人パーティー

平成30年1月4日(木)、DUMB名古屋にて61回生同期会・成人パーティーを開催いたしました。私たち61回生初めての同期会。125名集まりました。卒業してからまだ2年ですが久しぶりに会う同級生の姿は大人らしくなっていました。

お世話になった先生方からのビデオレターを拝見し中村高校で過ごした3年間の記憶が蘇り思い出話に花を咲かせました。毎日が楽しかった高校時代に戻ったようでした。とても楽しい会となりました。10年後、20年後も継続して開催したいです。

(61回生 津田 苑香)



■関東支部 総会・懇親会

平成29年8月12日(土)、東京・品川の中華料理店・青連を貸し切って、中村会関東支部の総会・懇親会を開催いたしました。

参加者は学校長・中村会会長・関東支部長含め27名で初参加者も4名いました。1回生から45回生までの幅広い世代の卒業生が一堂に会し、39回生の現役落語家・立川三四楼さんの落語と会友相互の近況報告も行い、楽しい懇親会となりました。

(25回生 大西 真吾)



■38回生同期会のお知らせ

卒業から25年を記念して、9月23日(日祝)に同期会を計画しています。詳細は『中村会』のホームページをチェックしてください。検索『愛知県立中村高等学校同窓会』にて!

(38回生 久野 仁也)

同窓会・同期会の情報をお寄せください!

「これから開催したい!」…■中村会ホームページ・facebookで案内することができます。

連絡先が分からなくて声がかけれなかった方にも連絡が出来る可能性があります。

■同期会開催に必要な住所情報について、提供することが出来ます(有料)。

「開催しました!」…■写真をつけてぜひご報告ください。会報やfacebookページで報告をさせてください。

ご連絡は中村会事務局 電話:052-411-7760 Fax:052-413-5357 E-mail:中村会ホームページまで!

第23回 『AI技術と〇〇で ゆたかな生活をデザインする ～ロボット、心理(感性)、音楽、医学と私。あなたの〇〇は何?～』

平成29年9月15日 中村高校体育館 加藤 昇平さん (34回生)
(名古屋工業大学大学院工学研究科 教授)



講演の冒頭、加藤さんが研究で携わったロボットがTVで紹介されたときの映像が流れ、生徒にも分かるように最新技術を説明してくださいました。昔のロボットはプログラミングした通りに動くものでしたが、今はロボット自身に試行錯誤させることで知能を獲得させよりよい動き・判断につなげていることや、老人の感情を読み取って認知症の診断に役立てたり、ロボットに感情をのせたりする「感性ロボティクス」の研究について話がされました。

さらに、ご自身の「幸福度曲線」を示しながら、ここまでの人生について振り返りました。今は研究が認められてとても満足しているけれど、今まで常に幸福だったわけでもなく、目標を見失ったときもあったようです。生徒達にも幸福度曲線をかくことを勧め、今の状況を客観的に見つめるとともに、目標を定めることの大切さを伝えていました。また、どのような進路でも「英語はちゃんと勉強しよう」と話されていました。これから文理選択や進路決定をしていく1年生には大いに参考になったことでしょう。

また、講演後、視聴覚室に会場を移して、2・3年生の理工学部を目指す生徒10人と教員数名とともに座談会を行いました。現在大学の就職担当という立場から大学院進学や就職についてなど、生徒の素朴な疑問に答えていただき、とても有意義な時間になりました。

母校だより

「わが精鋭の中村健児」はどんな活躍を見せてくれているか、先輩としては興味津々！ 母校の現在の活躍を紹介

■野球部「夏の甲子園愛知大会 第3回戦まで進出！」

第1回戦	7月8日(土)	一宮球場
対	稲沢東高校	9-2 8回コールド勝ち
第2回戦	7月15日(土)	岡崎市民球場
対	山田高校	13-3 6回コールド勝ち
第3回戦	7月17日(祝)	小牧市民球場
対	岩津高校	1-5 負け

母校野球部の第99回全国高等学校野球選手権愛知大会第3回戦を小牧市民球場で観戦しました。7月17日、海の日球場は暑く、まさしく盛夏でした。選手が元気にグラウンドに走り、整列し、試合開始のサイレンを合図にプレーボール。ピッチャーは1球1球全力投球、バッターはどんな球でも打つ気満々、打てば全力疾走、野手は飛んできた球に飛びついて捕球、そして

一塁側、三塁側スタンドは両校の生徒、同窓生、保護者が選手の一挙手一投足に声を囁らして応援していました。

結果は1対5で敗戦でしたが、暑い夏の球場で全力で戦う選手全員そして応援する同級生、保護者の姿に感動しました。特に野球部の後輩達が楽しく応援していた姿がとても良かったです。

試合後に応援団のもとに集まりグラウンドで頭をさげて挨拶していた選手達が印象的でした。きっと来年は応援していた後輩達が頑張ってくれるだろうと期待をしています。

(18回生 堀田 守人)



野球部県大会における応援バスのチャーターには、中村会母校支援基金「英気の泉」から資金援助を行っています。ぜひ「英気の泉」にご協力ください！詳しくは6ページをご覧ください。

■家庭科部「地域に貢献」

家庭科部は1～3年生部員20名が在籍しています。偶然女子ですが、男子の入部を拒否しているわけではありません！活動内容は、お揃いのエプロン製作、そのエプロンを着用した調理実習、小物やアクセサリーの製作、文化祭で展示する個人作品の製作などを行っています。

活動の成果を発表する場として、本校文化祭で食品バザーを実施しています。今年は去年に引き続き「地産地消カレーライス」を販売し、2日間で予定した400食を完売しました！また、今年度より、名古屋市立諏訪小学校の児童を対象とした「お菓子講習会」を実施しています。小学生のお菓子作りを部員が指導し、7月に実施した1回目は「マドレーヌ」を作りました。大変好評だったため12月に第2回を開催し、こちらも参加が抽選となるほどでした。

さらに、区政80周年となる中村区が企画した、「尾張中村めしレシピコンテスト」に部員全員で応募し、見事3名がそれぞれ最優秀賞・特別賞・入賞を受賞しました！最優秀賞を受賞した「ジューシー中村肉まん」は今後様々なところでレシピの提供がされていくようで、大変楽しみです！

今後も、学校内に留まらず地域に活動の場を広げ、貢献できる部活にしていきたいと考えています。

(家庭科部顧問 36回生 山口有里子)



■みんな頑張っています

高校総体県大会には、陸上3種目、体操男子団体・女子個人、水泳4種目が出場しています。体操男子団体は昨年同様第4位に入賞しました。弓道部は、男子団体が名南地区第3位でしたが、あと1中足りずに県大会出場をのがしました。

演劇部は2年連続で県大会に出場し、第4回自主公演を行いました。創作ダンス部は『第8回中村ダンスフェスティバル』を開催しました。

母校支援プロジェクト「部室改築募金」3月より開始！！

前号でもお伝えした、高校中庭にある「部室」の改築（大規模改修）について、関係各所との調整や承認を得て、いよいよこの3月から寄付金募集を開始します。

建築から40数年、多くの同窓生には思い出深い場所の1つですが、近年老朽化が目立ってきており、雨漏りや屋根に穴が空いている箇所もあり、使用できない部屋もいくつか出てきています。

寄付金募集目標額は1,000万円。今の部室への感謝の気持ちと在校生たちの応援の気持ちを込めて、卒業生の皆さんからの多くのご厚志をよろしく願っています。

なお、今回の寄付金募集は「ふるさと納税」と同等の寄付金控除が受けられ、寄付金相当額が簡便な手続きにより税控除され、少ない実質負担で大きな中村高校への支援が可能です！

詳細はホームページにてご確認ください。



新部室改築後イメージ

■賛助会費納入のお願い

●賛助会費 入金先

郵便振替 00850-6-185948

中村高校同窓会 賛助会費

※振込手数料はご負担ください。

賛助会費とは、同窓会の活動を支える大事な収入源です。同窓生の皆さんに毎年2,000円または終身50,000円の会費納入をお願いしています。

本会報同封の振込用紙または以下の振込先から納入をお願いいたします。

■同窓生で氏名・住所変更された方は事務局までご連絡ください。

事務局担当：川口 恭子（34回生）

TEL：052-411-7760（中村高校）

FAX：052-413-5357（中村高校）

E-mail：ホームページからご連絡ください。

■中村会ホームページ

<http://www.nakamurakai.gr.jp/>

■中村会 facebook ページ

<https://www.facebook.com/nakamurakai.aichi/>

■会報の発送について

会報は年1回、2月末に発行しており、賛助会費納入者、卒業後5年間および卒業回生の下一ケタを基準に5年の1度のサイクルで全卒業生の皆様に発送しています。今号の下一ケタ対象回生は「3」「8」の回生で、次号は「4」「9」の回生が対象となります。中村会ホームページでは毎号掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

■母校支援基金「英気の泉」への募金のお願い

●英気の泉 募金入金先

三菱東京UFJ銀行*柳橋支店 普通4709739

英気の泉 萩原義昭

※4月1日より「三菱UFJ銀行」に銀行名が変更されます。

※振込手数料はご負担ください。

母校支援基金「英気の泉」は、中村高校の在校生の諸活動に対する同窓会からの資金援助を行うための基金で、校歌の一節をとり、在校生の英気を資金面から援助する「泉」となっています。

最近では、在校生の海外短期留学や部活動の遠征交通費支援、部活動器具・道具の修理・購入などを行っています。ぜひ在校生のためにこの泉を枯らさないように皆さんのご厚志をよろしく願っています。

●平成28年度援助事業

野球部応援バス代金補助	277,652円
吹奏楽部徳島遠征バス代金補助	284,456円
オーストラリア派遣支援金	429,135円
中村ダンスフェスティバル開催祝金	30,000円
イングリッシュ・サマー・キャンプバス代金補助	295,256円

●平成28年度寄付者等（敬称略）

岡田 順一（元校長）、萩原 義昭（10回生）、山本 義治（15回生）、伊藤 義人（16回生）、山下 信子（20回生）、太田 守彦（22回生）、加藤 伸夫（26回生）、高木 靖之（26回生）、匿名（29回生）、古木 啓介（47回生）、久米 暁子（51回生）、大野 智孝（53回生）、中村高校 PTA バザー、総会オークション売上

■■平成29年秋の叙勲■■

県教育に長年従事し、功績をあげられたことにより、元校長・三宅正夫先生が、瑞宝小綬章を受章されました。おめでとうございます。